



心のまどをあけるには。「あいさつ」はひととしりあうあいことば

朝のあいさつをしましょう。お早うございます。(おはようございまあす。)

どの学年も、心を一つにして一年間のまとめに頑張っていると思います。

さて、今日はその「心を一つ」にすることととても関係のあるはなし、「あいさつは人と知り合うあいことば」という話をします。

いつもお話ししているように、あいさつは思いやり、相手の人のことを大切に考え、「元気ですか。」「大丈夫ですか。」「今日も一日よろしく。」という自分の気持ちをお互いに伝えるもの。そう、あいさつは思いやり、心のキャッチボールなのですよね。そして温かいあいさつがあると心が通い合い、お互いの心が一つになるように思います。

さて、先週の土曜日に、PTAのお母さん方やお父さん方、それに地域のたくさんの皆さんがお手伝いしてくださって、桃五のたくさんの子どもたちが参加した「餅つき大会」がありました。

たくさんのお友達が参加する餅つき大会、準備がとっても大変なのです。たくさんの方が皆さんの喜ぶ顔が見たくて、前の日からそして当日も朝早くからお手伝いや準備、そして終わると今度は遅くまで後片付け。たくさんの方の優しい心と力で、も皆さんはおいしいお餅をたくさん食べられたわけです。

さて、その中で、いっつもきねやうすを貸してくださったり、いろいろなことを教えてくださったり、一日中お世話してくださったりする方がいます。桃五小ができた頃に、この桃五小に通っていた、皆さんの大先輩のこのおじさんが、「桃五の子はいい子たちだね。今日もよく挨拶をしてくれるんだよ……。気持ちがいいですね。」

と、言ってくださいました。

知らない人と最初に知り合うのは「あいさつの言葉」からです。

そう、挨拶一つで知らない人の心とつながることも、逆に嫌われてしまうことも、あるのです。たったひとことの挨拶ですけれども、とっても大切なのですね。

心をこめて、相手の人を思いやって、元気に、丁寧に挨拶をする。たくさんの方と知り合いになる、はじめの一步です。

私も、毎日元気な気持ちで朝を迎えるわけではありません。時には心配なこともあったりします。でも学校へ来て皆さんの笑顔あふれる挨拶や元気な声に思わず元気の出る毎日です。

でも、でもね、そんなすがすがしい朝でも、悲しい挨拶もあります。

「おはよう」と挨拶をすると、笑顔でおはようと返してくれる人、にこっと笑顔を返してくれる人、恥ずかしそうにこちらを見て会釈を返してくれる人、いろいろな人がいるなかで、何度勇気を出して笑顔で挨拶してもこちらを向いてもくれない人もいます。3度目なんて大変な勇気を出して、笑顔で、挨拶しているのです。それでも、こちらを向いてもらえず、返事も返ってこない。きっと今朝は気持ちが元気じゃないのでしょうか、とは思っても、こんな時は「おはよう」といった言葉が受け止めてもらえず、その言葉がそのまま固まってしまって、足元に音をたててカランカランと落っこちてしまい、シューっと消えてしまうような気がします。とても悲しい気分になるのです。

挨拶は、するのもしないのもその人の自由です。でも、知っている人と会ったら、まして声をかけられたら、おはようの言葉を返せたらいいなと思います。

今まで、知らない人にはやっぱり挨拶しにくいな……。と書いていたのですが、考えてみれば、知らない人でも、自分の家へ来たお客さんなら、挨拶しますよね。桃五小にも、たくさんのお客さんが来ます。お父さんやお母さん方も来ます。みんなお客さんです。挨拶ができると、きっと明るい素敵な学校になるような気がするのです。

「挨拶をしなさい」とは言いません。言われてするものではないからです。でも、知っている人にあったら挨拶してほしいな。まして、挨拶されたら返しましょう。

心のキャッチボールのできる桃五小になると、きっともっともっと、誰もがみんな来るのが楽しみになると思うのです。

皆さんのちょっとした心遣いでそんなすてきな桃五小を創りましょう。元気な挨拶、できるといいですね。(はあい……。) おはなし終わります。